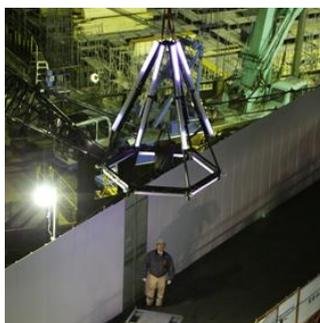


# 巨大クレーンイルミが浮かぶ・玉川キャンパス夜景 まだ見たことのない光の幻風景

教育と建設・2つの現場に光が舞う

玉川大学では、2014年末に姿を現す、未来の大学教育の中核となる大型施設の大規模な工事が進行中。それを予感させる未知の光が、建設現場・町田の上空に舞う。



小部屋ほどの金属フレームに、発光体を取り付けて大型タワークレーンで吊り上げ、周辺の夜景とともに不思議で美しい光景を生み出す。キャンパス内に分散した学生たちが、この冬にしか撮れない貴重なシーンを映像に収めるプロジェクト。

## 【システム概要】

タワークレーンに吊るされるクレーンイルミフレームには、LEDライトバーと同期型ストロボ等が配置されており、無線を経由してクレーンオペレーターと連絡をとり、地上のパソコンから制御する。バッテリーとインバータを電源とし、独立して動作。照明の演出プログラムは、オープンソース・ビジュアル・プログラミング言語「Pure Data」を使用して作成しており、地上のパソコンで、リアルタイムに演出パターンを生成しコントロールを行なう。

## ■クレーンイルミ実施予定■

2013年12月17日(火) 17:30 ~ 18:30 (天候等により変更されることがあります)  
場所：玉川大学キャンパス (玉川学園駅前 ~ 大学正門付近から見るができます)

主催：玉川大学芸術学部メディア・アーツ学科プロジェクトチーム  
協力：西松建設(株)、(株)シグ、(株)テルミック、(株)DOTWORKS

お問い合わせ：ktnk@art.tamagawa.ac.jp (田中敬一/メディア・アーツ学科教授)  
TEL 042-739-8918 (メディア・アーツ学科)